제252호 1909. 10. 30.

（一）號二百五十二第（土曜日）明治四十二年十月三十日（日曜及祭日の亞日休刊）（日刊）（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）

東城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城新報

キッチナー元帥を歡迎す

英帝國に於ける最大の軍人、世界に於ける堅實なる戰略家、堅忍不拔、品性高潔なるキッチナー元帥來る、元帥は英國皇帝及英國陸軍を代表して、我陸軍の特別大演習を觀んが爲に來る、途次我保護國たる韓國をも見んとして來らる、是を以て端なく余輩は名譽高き元帥を歡迎するの機會に接するの光榮を得たり。

キッチナー元帥は眞に軍人の標目として尊崇すべきの人也、何人も知る如く、キッチナー將軍の雄名は、早くも彼のカルツームに於て、ゴルドン將軍の救援に赴きたる時に於て現はる、當時に於ては一個の佐官に過ぎすと雖も、其戰畧の確實にして巧妙なる、其操行の嚴なるとにより世の歎賞を受けたりき、埃及に於ける陸軍司令官として敵兵を一掃して、平和に歸せしめたる其勝勇と智畧とには何人も畏服せざるを得ざりき、亦南阿戰爭に於ける參謀長としてロバーツ將軍を補佐し能く偉功を奏したり茲に於てキッチナー將軍の雄名は益々昂る英帝國に於ける最大の軍人、堅實なる軍略家たるの名譽は世界に盡けり、元帥は南阿戰後印度陸軍司令官に轉じ、爾來銳意厲精印度の軍隊を改善せらる、是によりて元帥は當に軍略家として雄名を馳するに止らす行政的手腕、凡ならざるを發揮せり、今や印度の陸軍は整備して、元帥の巨腕を煩はすに及ばざるに至れり、而して本國に歸て更に樞要の職に就かんとす、其間に於て我陸軍特別大演習を見られんとして來遊せらる、祖國に於ては今や此賓客に對する待遇の準備至らざるなし、此名譽高き元帥を迎るは帝國の最も光榮とする所也。

余輩が韓國に於て元帥を歡迎するに當りて特に感ずる所のものは、元帥は夙に英國の保護國たる埃及に永く陸軍司令官として駐在せられし事也、元帥が日本の保護國たる韓國の現狀を觀察して如何に感せらるゝかは聊か興味ある事なりと信ず。

元帥の嚴肅鑑正なるは何人も知る所、此點に於て敬服を受ることの極て多きを信ず其品性の高潔なる眞に軍人の鑑たる也、今や面の邊り其高風に接して歡迎するの機會を得たり、余輩は滿腔の誠意を傾けて歡迎するものの也。

●キ元帥の來遊

▲廿九日京城來着

英帝國に於ける最大の軍人なるのみならず現時の世界に於ける最大手腕の軍人吉智納元帥は其の極東視察の旅行中二十二日を以て當日に到着し我國の賓客となれり元帥は是れより我が陸軍の接伴官さ北に滿洲の戰場を巡視し韓國を經て十一月二日東京に來り英國皇帝及び陸軍を代表して那須野ヶ原に特別大演習を觀んとす此の名將を此の機會に於て迎ふるは我が日英同盟の爲めに大に歡ぶべき事と云はざる可からず

△戰略と陸軍行政の天才

元帥吉智納子爵は戰畧と陸軍行政の天才にして同時に强大なる意志と精力の人なり後の如く難局より難局に當りて常に之れに成功し赫々たる經歷を有すると同時に又た將來に於て彼の如く重大なる責任を有する將軍は蓋し現時の英國の陸軍に之れを見るべからす元帥は英國に於ける最も昇進の速かなる軍人にして最も若き元帥なり過去二十年間英國陸軍の名聲は多く此の名將の力によりて保持せられたりと云ふも過言にあらす而して今後英帝國陸軍の組織が此の大天才の力に待つ所大なるは極めて明かなり元帥は名をホレーショー、ハーバートと云ひカルツーム、パール、及びアスボールのキッチナー子爵と稱ふ

▲絶倫なる戰鬪中の功蹟

一八五〇年愛爾蘭に生れ皇立士官學校に入り一八七一年工兵少尉となり直ちに佛戰爭に赴き佛軍に加はりて最初より苦戰難鬪の經驗を嘗めたり一八七四年より八二年に至る八年間はパレスタイン及びサイプラスに於ける測量及び行政の事務に從事し八二年より埃及の騎兵指揮官となり後ちカルツームに於けるゴルドン將軍の救援を試みても其の巨大なる識力と精力とにより斷々乎として其の所個を遂行して進み着々顯著なる實功を擧げしが故朝野の信任動かすべからざるに至り五年の任期は異例を以て二年間の延期となり七年の歲月を以て將軍は殆んど其の思ふ儘に印度の陸軍組織の業を全うせり而して英蘭の協商成りて印度の國境安全となり陸軍は斯く堅固となるを以て今や吉將軍の偉才は帝國陸軍大組織の事業に向て用ゐられざる可らざるの時となれり其印度を去らんとするに當り吉大將は元帥に進められたり

▲英陸軍組織活動の中軸

今後に於ける吉元帥の事業は印度の陸軍滿洲の陸軍加奈太埃及南阿の陸軍總てを統一し英帝國の一陸を組織するにあるが如し元帥の方寸既に成竹あるべし此の計畫を以て歸途滿洲及び新西蘭の陸軍組織に助言を與へんとす其の結果知るべきなり元帥は歸國後地中海司令官の任に當る事となり居れり此の地位は二年前に創設せられたるものにして是迄はコンノート公の占むる所なりしが今度は吉元帥之れに代る事となれり地中海司令官は歐羅巴阿弗利加亞細亞の間に於ける英帝國陸軍組織活動の中軸を握れる位地にして極めて重要の任務なり此の位地吉元帥に歸せば彼れ必ず之れよりして帝國陸軍大組織の事業を開始すべしとは英國に於ける識者の既に豫期する所なり

斯の如き位地に在り斯の如き經歷と識見と手腕とを有する此の名將が滿洲に於ける實戰場を見而して來て我が陸軍を觀察せんとす其の結果の我が日英同盟の爲めに大なる仕合なるべきは言を俟たざるにあらずや

Field-MarshalLord Kitchener.

獨立心の變形

一記者

新開地や殖民地の人間は、任憑一方に於ては開豁な、そうして不人情な處が見ゆるも之と比例に、一方に於ては獨立自尊てゝ麗はしき感念が十分に具まつて、其地に養育せらるゝ兒童に於て殊に其の傾向の著しきものがあるのは實以て喜ばしき現象ではあるが、往々にして此の氣象が不可思議にも不思議の形に於て不思議の邊に現はれて來るのは些か驚かざるを得ない、韓國に於ても其の事例は甚だ夥しいものだが、茲に其の一例を擧ぐれば、妻女の財產隱匿である、夫に隨ひ事に此地に從ふ大小人の妻女が一種變挺の方法を廻らして月に年に夫の財產を胡麻化し私かに蓄財する一事は、確に獨立の氣象の不可思議に彩られたる變形である、彼等は米、酒、魚、野菜何でも購入したる物に對して價格以上の請取を書かせる是れ即ち彼等の財產構成蓄財の一方法である、何が爲めに之を爲す、曰く万一を慮つてゝある、萬一を慮るとは什麼、曰く己の破産、夫の死亡に遭ひ獨活又は惡酒に準備す、と聞かば其等の曲事は其の地の新開地殖民地たるの故を以て起るにあらずして一に其の人の慾望によると思はんも、亦は當らざる遠し、此地に於ける四圍の事情は人の妻女にも人の寡婦に倣るべからざるものであると傷悟せしめ、遂に我夫に對してすら不安の念を懷くに至らしむるのである、事實破産の惨劇は日々に行はれ續起再醜專員になつて居るのを見れば此等の曲事が行はれるのも無理からぬとも思ふ、唯此の一事は曾に下層の民間にのみ行はるゝものでないことを附言せねばならぬのを惜む、吾人は此の現象が獨立の氣の變挺に變形したるものであると傷ずると同時に養女に對しては冤に角養育する兒童に對しては十分の慰藉を要するものたることを警告せねばならぬ。

●割烹界の福音 味の素

「味の素」は御味料として、和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺べからざるもので、強行の時などに機轉せられたならば、如何なる遠隔な土地でも、食物の不味きを訴ふることはありません、その上料理や、晃布の雜に色々御加減の手數も入らず誰れにでも克く用座に忘れる事のできないうまい飲食物を調理するには味の素の外にはありません。一瓶金貳十五錢、他地方は引替小包にて送り致す

韓國特約店 洋酒食料品 米麗 雜貨 煙草類 金鳥 美術品 直輸入商 京城本町二丁目 同三丁目 辻屋 本店 電話二四八番 支店 電話三六六番

暖爐各種 煙突取付並ニ煙突掃除大勉强 京城本町五丁目角一番戸 電四七一番 電三六四番 馬木勇吉 龍山山下町兵器廠官舍通入口 馬木支店

廣告

眼科專門 京城本町一丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院 電話三三 前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

支那小犬一疋 毛色赤身長一尺 牝 右行衛不明ニ付相成候ニ付發見被下候御方ニは相當の御禮可仕候 京城貞洞 ソンタクホテル マンニング

明治四十二年十月廿四日 天長節奉祝會發起人 中村再造 和田常市 熊谷賴太郎

爲めに韓方圖より種々の批評を受けしと雖も其の巨大なる識力と精力とにより斷々乎として其の所個を遂行して進み着々顯著なる實功を擧げしが故朝野の信任動かすべからざるに至り五年の任期は異例を以て二年間の延期となり七年の歲月を以て將軍は殆んど其の思ふ儘に印度の陸軍組織の業を全うせり而して英蘭の協商成りて印度の國境安全となり陸軍は斯く堅固となるを以て今や吉將軍の偉才は帝國陸軍大組織の事業に向て用ゐられざる可らざるの時となれり其印度を去らんとするに當り吉大將は元帥に進められたり

▲英陸軍組織活動の中軸

今後に於ける吉元帥の事業は印度の陸軍滿洲の陸軍加奈太埃及南阿の陸軍總てを統一し英帝國の一陸を組織するにあるが如し元帥の方寸既に成竹あるべし此の計畫を以て歸途滿洲及び新西蘭の陸軍組織に助言を與へんとす其の結果知るべきなり元帥は歸國後地中海司令官の任に當る事となり居れり此の地位は二年前に創設せられたるものにして是迄はコンノート公の占むる所なりしが今度は吉元帥之れに代る事となれり地中海司令官は歐羅巴阿弗利加亞細亞の間に於ける英帝國陸軍組織活動の中軸を握れる位地にして極めて重要の任務なり此の位地吉元帥に歸せば彼れ必ず之れよりして帝國陸軍大組織の事業を開始すべしとは英國に於ける識者の既に豫期する所なり

斯の如き位地に在り斯の如き經歷と識見と手腕とを有する此の名將が滿洲に於ける實戰場を見而して來て我が陸軍を觀察せんとす其の結果の我が日英同盟の爲めに大なる仕合なるべきは言を俟たざるにあらずや

美術帶上帶締其他紐類各種
京城西洋町一丁目 兔ゐり德商店

東京市報

▲國葬事務の開始　本日より靈南坂官邸に於て國葬に關する事務開始さる（二十八日夜着電）

▲各國皇帝の吊電　英獨露伊太利各皇帝及び墨其哥大統領より伊藤公遭難に就き慰寫なる吊電あり我陛下より御答電を發せられたり（同上）

▲外套貫通の彈痕　中村滿鐵總裁も外套を微しズボンに貫通せる彈痕あり室田義文氏にも同じく彈痕ありたり

▲伊藤公爵の靈柩　伊藤公の遺骸は厚さ一寸の棺に收めフォルマリン瓦斯を充し密閉せるものにて昨夜富岡及官伊知地師團長古谷秘書官其他多數の者徹夜して用意したり（同上）

▲韓國太子に優詔　天皇陸下は岩倉宮相を韓皇儲邸に遣はし伊藤補育總裁薨去に就き卿の心情察すべし朕は日ならず適當の後任を擧ぐべく幸に學業を廢する勿れと慰諭せられたり（廿九日着）

▲鶴原前長官の談　伊藤公兇變に就き鶴原前總務長官は語って曰く伊公暗殺の風說は從來屢々起りたるも公は毎に兇徒に均しき言動なりとて齒牙に掛けざりし曾て平南觀察使の私邸にて密書を發見せる時も浦塩へ密々を傳へたる事件も何等注意を拂はず總て秘密に葬り去れり今現に此奇禍を買ふ思ふに其背後には有力なる主唱者潛伏可し云々（同上）

▲全國學校の休業　文部省にては故伊藤公國葬の當日全國各學校に休業を命じ公の威靈に對し哀悼の意を表せしむべしとの機起り明中決定す（同上）

▲共犯九名を捕縛　哈爾賓にて今日兇漢の連累者九名捕縛せられたり

▲伊藤公の葬儀費　は三万圓にして委員は宮內省內閣秘密院各方面より撰任せられ伊藤公國葬費以下は同公爵家の葬儀係りに任せらる（同上）

▲葬儀準備の豫算　伊藤公爵葬儀係長以下委員は靈南坂權密院議長官邸に於ける同事務所にて事務を開始し葬儀豫算三万圓の見込にて準備編制中なり

▲犯人の身元判明　犯人ウンチアン（既出）は歐文ウン、チル、アンにして歐文書式にて名を先に姓を後にて記せるが爲めなり之を音にて讀めばアンウング、チルとなり漢字にて即ち安應七なり安應七は有名なる李鮑晋（親露派の巨魁）の門下にして浦塩斯德に永らく在住せるものなり（廿九日至急報）

歐州電報

▲伊藤公の悲音　伊獨兩帝の吊電に接するや獨帝は深厚なる哀悼の意を表し公は東西第一流の政治家の一人なりと言明せられ伊太利皇帝は日本天皇陛下に長文の御親電を發せられたり（廿九日東京經由）

▲兇變と米國官民　米國官民は伊藤公の暗殺の報に接し非常に驚嘆し新聞紙は號外を發し公は世界三大人物の一人なりと激賞し今回の暗殺は日本國民をして憤慨せしめ韓國に對する安寧秩序を維持する爲め一層强壓手段を採るに至るべく貴國務卿ノックス氏は國務大臣に通知し同時に又ミシシッピー沿岸旅行中の大統領タフト氏に通知しタフト氏は日本皇帝陛下に向ひ親電を發せられたり（廿九日東京經由）

桑港電報

●兇徒の身元　伊藤公の暗殺の報に接し公は之れを辭退し受けられしと雖潔白なる公は之れを辭退し受けられりと言明せられ伊太利皇帝は日本天皇陛下に長文の御親電を發せられたり（廿九日東京經由）

桑港電報

●御名代と韓太子　伊藤公の葬儀に參列せる韓皇の御名代は在東京の韓太子に仰せ付けられ義親王は其副使として參列する筈なりと

●束帛と吊文內容　今次藤公の葬儀に參列せる趙鼎相は既報祭祀料の外束帛を携帶する由なるが這は韓國に於て最も古式の最敬禮に用ゆるものにて日本の幣帛と其の性質を同ふし吊文の內容は伊藤公が韓國の爲めに盡されたる功勞を頌して公には統監としての指導と私には師と成られて銘謝す云々と云ふにあるよし

大連電報

▲靈柩大連模樣　昨日伊公の遺骸大和ホテル出棺の際は中村滿鐵總裁其他の贈れる花環にて裝飾せし馬車に靈柩を安置し其兩側には中村總裁は守刀を帶び井秘書役は重要書類を容れし革鞄を古谷秘書官は公の遺狀を小山善氏は公の最後を冠り帽子を持し埠頭に至りたるが行列は警官憲兵先驅し會葬者無慮千名にして何れも悲痛の色面に浮び凄慘を極めたり（廿九日）

▲海上辛ふじて吊問　光濟號の大連入港は十時二十分にして韓國派遣の吊問使一行は三山島神にて秋津洲に辛ふじて追ひ付き吊意を表せりと（同上）

▲中川檢事の北行　檢事長中川一介氏は光濟號より大連へ上陸し直ちに北行列車にて長春に向へり（同上）

雜報

●兩皇帝の御會談　韓皇は一昨日統監邸より還幸の途本德壽宮に太皇帝を御訪問ありたるが今兩宮御會見の御模樣に就て君側に侍せる某大官の漏らせる消息なりと云ふを聞くに韓皇は先づ父君に對し伊藤公が我韓國に爲の兇手に殞れたるは誠に痛嘆の極みにて本日は特に統監邸を往訪し吊辭を述べ且つ同公葬儀に對し勅使差遣なる下聞したりと仰せられ夫れより東京御留學中の韓皇儲の御身の上に就て御對談の後太皇帝は玉体嚴に韓皇に對し朕は此際多くを語らず只一言申し度き事は斯る重大事件の發生したる際なれば內閣大臣の奏請に對し十二分の注意を拂ひて裁決し殊に玉璽に押捺に就ては遺漏なきを期せられよと仰せられたりと云々（電報通信）

●祭祀料と吊慰金　昨紙所報の如く伊藤公の葬儀に就て韓皇は巻萬圓の祭祀料を贈る筈なるが尙遺族に對しては吊慰金十万圓を贈る由にて公は生前韓國の親王侍遇にして且大師たるを以て其の秩祿は三萬餘圓を受けらるべき資格なりと聞く昨日午後二時仁川に着したる等なり

長、奥田民政長官、加藤商業會議所會頭の

安應七（既出）外八名にして現場に於て逮捕されたるが而して安應七はウンチアンと同一となりたるなるべし偖安應七は平安道生れにして浦塩に在住せるものなる由なるが彼安昌鎬（平壤在住）等と氣脈を通じ常に排日

●兇行犯人の素性　伊藤公の葬儀に參列せる獨逸の巨魁ボーデ氏は獨逸スチーブン氏暗殺事件の張本人たる會合密謀したることあり又李甲は伊藤公狙撃說亦無公遭難の報に接し

●學部大臣の訓令　學部大臣は本日左の訓令を漢城府、觀察道及び官立諸學校に傳へ各地方の儲學校へは更に地方長官よりこの意を体して訓令を下しめ學童をして敬弔の意を表せしむる事期日は未定なるも多分國葬當日より向ム三日間に決せらるべし

太子大師伊藤公薨逝殿下今回哈爾賓に於て不幸兇漢の毒手に罹り遂薨去せられたるは上下等しく驚駭して痛恨に堪へざる所なり惟ふに殿下は統監として皇太子補育の任に膺り終始我國の爲に盡されたる特に國家及國民の福祉を增進するに絮められたる特に言を俟ず俄然其兇報の到るや皇上深く軫念して痛悼の意を表し給ひ三日間停朝し就いては其の管下公私立學校に豫め通達するの日を期し一齊授業を休止し學員學徒に訓諭と與へ以て敬弔の意を表せしむべしと

●法部廢止と勅令發布　法部廢止に伴ふ諸勅令左の如く昨日官報を以て發布せられたり

一、法學校官制廢止但し法官養成の爲め法學校を設け學部大臣の管理に屬せしむ

一、同年勅令第七十號判事檢事及弁護士の任免に關する件

一、同年勅令第七十一號法部官制廢止件

一、同年勅令第七十二號裁判所構成法及弁護士法施行法

一、同年勅令第七十三號裁判所構成法施行期日に關する件

一、同年勅令第七十四號刑事訴訟法施行期日に關する件

一、同年勅令第五十二號監獄官制廢止件

一、同年勅令第五十三號未決囚押送規則廢止の件

一、光武二年勅令第三號監獄規則廢止件

一、隆熙二年勅令第五十一號法部官制廢止件

一、隆熙二年勅令第五十二號裁判構成官及官吏懲戒令廢止件

一、賣場へ留置及留拘刑罰執行に關する件

一、同年勅令第卅三號監獄官服制及徽章制定に關する件

一、同年勅令第四十八號法官任用令

一、從來法部大臣の處理に屬せる土地家屋證明に關する事務は內部大臣行ふ件

●法權委任と法律廢止　韓政府は昨日の官報を以て左の諸法律廢止の件を發布せり

隆熙元年法律第八號裁判所構成法

同　光武十一年法律第一號民刑訴訟法

同　隆熙二年法律第十八號裁判所構成法

同　三年法律第十八號裁判士法

右は既に十月三十一日限り廢止せらるべきものなり

●諸法律改正の件發布　韓政府は左の諸法律改正の件を昨日の官報を以て發布せり

一、隆熙二年法律第十三號民刑事規則中第百三十八條乃至百四十一條削除の件

一、同年法律第二十四號刑事裁判所費用規則中第一條第四號中改正の件

以上十月三十一日とす

●勅使一行の歸京　伊藤公遭難慰問使李總理大臣一行を載せたる光濟號は別項東電の如く午前十時後大連へ入港したるも公の遺骸を搭乘せる軍艦秋津洲は既に港口遠く三山島へ出でたる後なるを以て急ぎ鎭島外務部長中川檢事長を上陸せしめ直ちに進路を轉じて追尾する餘りわり嗚呼公の威力も遂に韓國民は濟度し能はざるを思へば其遺恨遂于夕故使巡査を派遣の事は既報の如くなるが目下某官宮內府次官、祀太官朴泉鶴、親衛隊長高張吉根の諸氏に決定せり

●韓國勅使の隨員決定　伊藤公葬儀に對し勅使は既に決定せるが其隨員は小松宮國分昌德、德壽宮國分德壽、通譯官國分エフが待つて居るのだから、態々引返して來る筈がない▲遺骸だけを大急ぎで持つて歸つて東京に着た上で、死んだ爭を公表するのだらうが伊藤の爲には彼處でアッいふ間に死方をしたのが死花だから、ナニも秘し隱す必要はあるまいと思ふ、イヤ伊藤が生て居たら怒るだらう▲生きて居る時から好運の男であつたが、死ぬるのにも運が好かつたな何にしても今殺されたといふ事は伊藤に取てはこの上もない幸福だ板垣を見ても分る人間は死時が大事だからナ、伊藤もこの先ヨボ〳〵生きて居るよりは、今が死時さ我輩が我輩は別だよ、一日生きて居れば一日だけ向上して行く、我輩は脚をなくした時死んで了へば良かつたと今では考へて居らぬ▲我輩との關係が、伊藤とは五十年の交際で一處に仕事をした事もあり喧嘩をした事もあり公に就ては種々の變遷もあつたが私交上の親友としては終始渝らずだ我輩を知る者は伊藤が伊藤を知る者も亦我輩だと信じて居る、伊藤の我輩に於ける所謂知己なるもので、哀悼といへば之程哀悼の事は無いが、事う我輩は嫁女子見を避て事ス伊藤のために其死處を得たのを祝さうと思ふ▲唯、此は誠に恐多い事だが、陛下の御信任は非常に厚いから、伊藤が不慮の爲に亡くなつたと聞召されたら、どんなにか宸襟を惱せられるであらう、その點を想ふと我輩も畏に涙がこぼれる、我輩が泣くのは伊藤のためでは無い▲伊藤の功業が左樣その跡から見れば天兒屋根命以后の第一だが、その內にどれ程、先輩や時勢やの御手傳があつたかといふ事は大分問題だね▲我輩が脚をやられた時、伊藤が見舞てくれたからこの次は貴樣の番だやといふて笑つた事があるが、その時にはナニ伊藤なぞとても人に殺される程の事は出來やしないと思つて居たが物の間違といふ者は仕方のないものでさう〳〵朝鮮人に殺された若し朝鮮人が朝鮮の爲と恨めば伊藤よりも我輩を余計に恨まねばならぬ筈だ、伊藤は朝鮮に取つては大恩人だからな▲伊藤が死んだからといふてどの方面にも別に大した影響はあるまい謂はば伊藤は今ではもう勇退で當主ぢやないからね、唯列國では實際我國で思つて居るよりもヒドク取つて居るだらう、何といふても伊藤は世界の大政治家で列國の目から見ると、桂などはまだ小僧だからね。

●龍山通信（廿九日支局報）

▲キ元帥出迎　大久保龍山民長、上村龍山署長の兩氏は昨二十九日午前九時二十分發の列車にてキ元帥を開城まで出迎へたり

▲慰勞宴延期　龍山警察署員、憲兵分遣所員及び龍山民團役所員は昨夜八景園に於て防疫慰勞宴を開く筈なりしも伊藤公薨去の飛報に接し敍日間延期する事とせり

●中央大學々員會　中央大學韓國支部の學員會は今般大審院に榮轉せし菅阪駒太郎氏を今般大審院に榮轉せし菅阪駒太郎氏を上海控訴院に轉任せし結城朝陽大邱に轉任せし永沼直方三氏の送別を兼ね二十八日午後五時より京城ホテルに開會したるが先づ秋期大會を開き韓國支部長たる菅阪氏榮轉に付後任を平山學士に托嘱する件、議定し次に幹事の改選を爲したるに神田喜三郎、宇都宮高三郎、洪在旗、安藤靜、四氏當選し夫れより登別宴に移り散會したるは十一時なりしが參會者三十餘名頗る盛會也き

●燈臺局長の談話　豫定の如く本日午後一時より仁川民役所樓上に於て滬江流域運用に關する鳥殺燈臺局長の講話ある筈なりと

●全南觀察使入京　全羅南道觀察使申應熙は昨朝木浦丸にて仁川上陸直に入京せり

●佐藤金助氏出發　來京中の平壤理事廳副理事官の同氏は一昨日釜山へ向け出發す

●民野檢事の退京　平壤地方裁判所檢事代野德太郎氏は二十八日出發釜山へ向へり

●高家正義氏歸任　度支部技師高家正義氏は術部長の同氏は二十八日開城へ歸任したり

●新聞記者伊達氏　國民新聞記者伊達源一郎氏は二十八日新義州へ向け出發したり

近事片々

▲伊藤公の遺骸に就ては組國人心の慣慣は絶頂に達せるもの〳〵如し是れ當然の至り▲輿論の機關たる新聞紙の所說によりて分明也對韓政策最後の解決を促すこと急也▲日韓統一の實を擧げ絶東平和基礎を安全にし內外に誇る韓人取締を嚴にせよ▲總て日本の意の如くするも列國の異議なかるべく寧ろ身命財產の安全を喜ばひとは▲是れ大阪毎日の論ずる所是れ事實の問題真に是れ至當の言分當局者の猛斷を要す▲兇徒の組合三十人とは兇徒自身の自白依是觀之是が煽動者たるもの組は知るべし▲其根原畧ぼ明瞭なる上は茲に大斧鉞を加るは當然の事の何の躊躇する所あらん▲海牙密使事件と云ひスチーブン氏暗殺事件と云ひ今回の事と云ひ禍根恐るべき由▲此儘に經過すれば斯る禍根は何時迄も蔓延す唯此際採る所置は斷然たる事にあり▲如何に狂すれば迚韓國の恩人たる公害するに至ては實際に最早看過する能はず▲伊公の訃報に接して流石の隈伯も氣悄然多く語らずと友情の深き左もあらん▲林董伯曰く天下惜むべき人多しなれども伊公の死程哀惜すべきはなしと眞に然り▲公の死により大變革起らひ其消息は目躰的に說明するを要すと夫れ或は然らん▲日本に保守進歩の二大主義の存するを知る者は保守派の衰微を見ること遠きかな▲然り文官派或は政友會派には其に大打擊西園寺侯では聊か勢力維持物足らぬ▲寺尾博士は對韓寬進轉の機也と喝破す斯くせば地下の公も遺憾なかるべしと▲倫敦タイムスは伊公は人類の進歩に貢獻せる最大人物也と評せりと是論難なきも▲獨逸半官報も亦伊公は偉人にして且つ甚大なる政治的功勞者也と評せりとは可▲露帝は伊公は日露親和回復の大有力者公の薨去は露國に取り國家的損害也と宜▲米國新聞は韓人は恩人に對し仇を以て

日刊（月曜及祭日翌日休刊）　明治四十二年十月三十日　樂報　（土曜日）　第二百五十二號　（三）

憤!!伊藤公爵（三）

若い騎知事と梁山伯の縦論横議

公等が密航國樣に英國に渡航したる事抔は余りに人口に膾炙し居りて、今更に事新らしく書立てる必要もなからう、故に記者は一足飛びに梁山伯時代に移りて、其中最も興味を感ずる點のみを書いて見よう。

築地本願寺の隣邸に大隈八太郎や、大木喬平や、井上聞多等が寄合て梁山伯を作つた、此等の連中は何れも血氣盛りで、縦論横議眞に當る可らざる勢であつた、其當時公の廿何歳の若い年で兵庫縣令をして居つた、磊落放縱にして毎晩貸座敷に乗馬で繰込み朝は貸坐敷より乗馬で縣廳へ出勤すると云ふ次第である、されど公の事なれば決して之が爲に處務を滯させる樣の事は毫もなかつたのである、而も身は神戸にあるも種々なる意見を吐露して中央政府に建策したのである、身は地方官なれども其心に於ては內閣の一員で國家の秋蹟を双肩に荷ふて居る考で居つたのである、其考たるや正に強なる今時の地方官等には樂にしたくもない、當時は大久保甲東の勢力は殆ど願堂を壓して居つたのである、其大久保が公や大隈の建策をズン〳〵用ひたので、其身は閣員に列せざるも閣員と同一であつた、所が若しも大久保の政策にして非なるものがあれば、公は遠慮なく反對意見を發表してドシ〳〵攻擊したのである、所謂氣焔萬丈にして流石の甲東も恐れたと云ふ事である、之等の爲か公は忽ち東京に呼び戻されて幕僚專門となつて、梁山伯豪傑となつた、何れも敗けず劣らぬ連中計りで議論に花が咲くときは徹宵論と合つた事もある、併し放論豪語すると雖も決して無責任なる机上の空論でない、論する所は直に廟堂に立て行ふ所である、當時の施政は總て此梁山伯より生れ出たるものと云ふも敢て過言でなかつたろう、亦大久保でも木戸でも何かと云へば梁山伯連に相談をしたのである、斯の如くなれば身は無位無官でも今日の大臣と同じである、維新の大業は多く之等の豪傑連によりてなされたのである、是を思ふと今日の若ひものは實に意氣地のないものである。

當時京濱鐵道の布設に就ては政府に於ても非常に頭を惱ましたものである、之が布設を實行するには流石の甲東も痛心したと云ふ事である、此際に於て一意斷行を迫つたのは公と大隈とであつたと云ふ事である、梁山伯中でも公と大隈は最も傑出して居つた、多くの建策は此二人者に出で〳〵大久保甲東は是が實行者であつた、斯る狀態なるを以て當時の政治は頗る振つたものであつた。

●畏こき九重の奥

▲傳へ聞くだに恐多し

二十六日午後四時伊藤公遭難の第一報宮內省に達するや岩倉宮相先づ愕然としてこれを德大寺侍從長に傳へんとする折柄第二の悲報至れり宮相更に愕然急ぎ德大寺侍從長の下に駆け付けしも吃りて語る能はず戰〳〵双手僅に二通の悲報を示せば侍從長の白髯動き顏色忽ち蒼然として椅子に墜へずして戰慄久しくしてコンナ事が奏上し得られ樣かと一言洩らして涙を垂れ兩人憂愁に沈める際三度外務省より確報に接し今は言葉なく倉惶德大寺侍從長より陛下に言上する句も切〳〵に悲報の次第を奏上するや陛下には玉座を進ませられ伊藤が龍顏御憂色を帶びさせられ暫くありて何故早く取紛せとの御諚あり侍從長は直に在ザン〳〵用ひたので、其身は閣員に列せざるも閣員と同一であつた、所が若しも大久保の政策にして非なるものがあれば、公は遠慮なく反對意見を發表してドシ〳〵攻擊したのである、所謂氣焔萬丈にして流石の甲東も恐れたと云ふ事である、之等の爲か公は忽ち東京に呼び戻されて幕僚專門となつて、築地豪傑連によりてなされたのである、是を思ふと今日の若ひものは實に意氣地のないものである。

當時京濱鐵道の布設に就ては政府に於ても非常に頭を惱ましたものである、之が布設を實行するには流石の甲東も痛心したと云ふ事である、此際に於て一意斷行を迫つたのは公と大隈とであつたと云ふ事である、梁山伯中でも公と大隈は最も傑出して居つた、多くの建策は此二人者に出で〳〵大久保甲東は是が實行者であつた、斯る狀態なるを以て當時の政治は頗る振つたものであつた。

乘馬で繰込み

朝は貸坐敷より乘馬で縣廳へ出勤すると云ふ次第である、されど公の事なれば決して之が爲に處務を滯させる樣の事は毫もなかつたのである、而も身は神戸にあるも種々なる意見を吐露して中央政府に建策したのである、身は地方官なれども其心に於ては內閣の一員で國家の秋蹟を双肩に荷ふて居る考で居つたのである、其考たるや正に強なる今時の地方官等には樂にしたくもない、當時は大久保甲東の勢力は殆ど願堂を壓して居つたのである、其大久保が公や大隈の建策をズン〳〵用ひたので、其身は閣員に列せざるも閣員と同一であつた、所が若しも大久保の政策にして非なるものがあれば、公は遠慮なく反對意見を發表してドシ〳〵攻擊したのである、所謂氣焔萬丈にして流石の甲東も恐れたと云ふ事である、之等の爲か公は忽ち東京に呼び戻されて幕僚專門となつて、築地豪傑連によりてなされたのである、是を思ふと今日の若ひものは實に意氣地のないものである。

梁山伯豪傑連

大膳職より進奉れる夕の御食事も用なしとて御召あらせられず

九重の奥愁雲深く閉されたる事聞も悲しく鴻恩期の如く伊藤公亦以て瞑すべし

●肺病を苦にして縊死

▲温突の梁に帶打掛けて

暮れ行く秋を追ふ縊死も企てたる憐れな物語あり茲に原籍長崎縣北高來郡江の浦村七百廿四番地當時京城大和町二丁目廿八番戸居留平民山口秀次（三）は不治の肺病を苦にして一昨廿八日午後自宅溫突室內に於て襟卷單衣一枚の下に メリヤス襟長を着し高さ六尺位の朝鮮式色紙の天井を破り其上約一尺の所に僅に松丸木の棟木に內縁の妻丸井かぎが平常用ひる博多織帯一寸長さ四尺位の腰帶の中央部を頸に纏ひ後頭部にて堅縛し兩端を棟木に結び火箱を踏み外したるもの、如く足爪先は殆んど座に觸れんとするまで垂下し兩部は南方に向け縊死を遂げ居たるを同日午後三時頃業務を受負ひ且つ南大門停車場に簡單なる食堂を設け來月一日より開始する筈なり又同ホテルに大小寝台食堂を設け且つ旅館をも經營せが旅館は總べて日本式にて宿料の如きも一般旅館の規定に準じ大勉强を爲し つゝあれば城內所の閑靜一室內の清潔と食料の精選さへ旅客に取ては便利至極なり

●意兒から大喧嘩

一昨日午後九時半頃仁川敷島遊廓敷島樓支店に於て摺つた揉んだの喧嘩の眞最中なりとの由を聞知したる花町派出所詰警官は即刻同樓に出張して取調べたるに同樓內若駒の部屋に於て仁川本町一丁目富士商會方土木業滑水音吉（三五）及び同人方娼場青木兼吉（三五）とが前々日より流連して紀文大盡を氣取り居たる處へ前記青木の兄弟分なる松坂町居住の小川伊吉（三一）と云ふが來り意見を爲したる上厭がる青木をば連れ歸らんとしたるより茲に端なくも爭鬪を惹起したるものと判明せしかば右三名に對し不心得なき樣說諭し退れッ

●醉つて件の如し

鏡路一丁目番戸石井房太郎（三）の兩人は一昨日午前一時三十分頃太平町一丁目淸國人麗華園楊本賢の出張して取調べたる處が訴へ依り巡査庭內に於て鼾睡し居たる處が兩人は同町一丁目料理店九州亭に於て飲酒の結果酩酊し同亭の二階より轉げ落ちたるものと判明し右日玉を頂戴して歸宅せしめたり

●下層韓人の不埒

仁川署に於ては伊藤公遭難に對する管內居住韓人の動靜如何を密偵中なるが聞く處に依れば多少思慮ある兩班連は寄々額を突き合せて今后の國運に疑懼せるものゝ如けれど擔軍等の勞働に從事せる無識の徒は只だ譯も分らず蔡公を暗殺したる兇漢の自國人なるを誇として喜色を呈ふるものゝありと雖も一般に人心靜穩を保ち居れるが如しと

●日清人間の爭鬪

と云つても大した事にならず仁川京町一丁目居住の雜貨商琴後鎭（三）と云ふは魚商阪本倉藏（三）とは一昨日午後八時頃商品賣買上の事より喧嘩を始め撲り合ひの最中巡査出張して双方を引分け說諭の上放還したと

●相川撲手の上阪

京都秋季自轉車競爭會に於て未曾有の大速力を出し約三町の大差を以て空前の大勝を得たる相川留一氏は十一月三日大阪開催せらるゝ全國勸業博覽會に加入の爲め去る廿七日南門出發上阪の途に上りたりと云ふ

寿座歌舞伎座

▲堀井は本日乘込み當座に出演の堀井茂兵衛伊藤文夫一派は昨夜釜山を出發したれば今朝一日にして乘込む筈而して初日は來月一日にして演物は既報クェニスの商人「潮」に決定せり又歌舞伎座は連夜大入の爲め當分打ちつゞく由にて赤垣源藏は藝風甚だ上好評

●娼妓の無斷外出

仁川敷島遊廓高砂樓の抱娼妓山代及び仙代は一昨日花町派出所巡査の承認を得ずして寺町一丁目安洗濯屋まで外出し亦敷島支店の光良と同じく花町菊屋まで外出したる廉に依り嚴しく將來を戒められたり

●仁川の酌婦檢黴

仁川の酌婦と對し一昨日仁川病院に於て定期檢黴を行ひたり

●人力車體の檢査

仁川署は一昨日市內の人力車夫を召集して車體の檢査を行ひたり

●龍山の膳窒扶斯

龍山鐵道官舍神谷信夫は一昨二十八日膳窒扶斯に罹れり

●一昨夜の新町

遊廓の色餓鬼は七十六人にて總計四百三十三圓六十一錢の散財

館判賭

本町五丁目　三一

十月卅日●舊九月十七日●白先勝癸亥○そく△一白●厄運の日なり●万慎み畏べし●黑不如意不振の日なり●黑不如意不振の日なり△二黑●不如意不振の日なり△四綠●顧進利達の日なり△五黃●不振衰運たり△六白●不意の收利又は便宜を得る事あり其外特記事に注意すべし△八白●窮厄の日なり紛爭盜害防ぐべし△九紫●不利の日なり但し子孫使用人の事に注意すべし△七赤●紛爭盜難多し盜害橫領防ぐべし如意の日なり新事見合の事農林業には吉なり右は概括的判斷なり各人格別に付て直接に同館の鑑定を請はる可し

韓國銀行株買入

京城新報社內

これが政客の芝居總見が種つた爲か不抱多少御用命仰付被下度奉願候

●福井茂兵衛優（四）

▲當地壽座に出演する

これが政客の芝居總見が種つたが爲か不抱多少御用命仰付被下度奉願候

無害ノ煙草ヲ御照會致シマスEDP金口黃

洋金口黃葉卷パイプ　直輸入商　御賣小賣　日希商會　主任メニヤス　電話二二二番

廣告

開業四週年　大賣出し

弊店儀御得意樣の御引立を蒙り日增しに繁榮の赴き候段難有仕合に奉存候偖て來月は恰も開業四週年に相當するを機とし平素の御愛顧に酬ん爲め一日より一週間々勤し破格の大賣出を開始可仕候間續々御下命の榮を賜はり度奉希上候

百目に付き
ロース　廿二錢
並肉　十四錢
上等肉　十八錢
豚肉　十六錢
鷄肉　三十五錢

明治町一丁目　石田精肉店　電話千〇四十二番
本町一丁目たからや事　石田支店　電話三百二十九番

增築落成御披露

兼て增築中の處今般落成仕候間醉樣方の御來事を奉祈候　謹言

京城南山南一町目

待合貸席　入船

電話一一三五番

十二月一日より開院

尙入院の需めに應す

開院廣告

內科　小兒科　診療時間自午後一時至同四時
外科　花柳病科　前漢城病院長　ドクトル　メヂチーネ　和田八千穗　自午前九時至正午
同
眼科　耳鼻咽喉科　東京醫科大學選卒業科　瀧澤喜太郎
內科　當分毎月四回、一日、五日、十五日、廿五日　醫學得業士　赤羽學
婦人科　醫學得業士　天ケ瀨健六
龍山居留民團囑託　龍山醫院　龍山榮町（文平山麓）

前仁川病院長醫學士　松村三省

廣告

●天氣豫報　自廿九日午後六時至三十日午後六時

北西の風晴

廿八日（華氏）　最高溫度　五三、六　最低溫度　三八、八

角商會代理店　前川自轉車店　京城南大門橋

제252호　1909. 10. 30.

各種洗濯石鹸　專門製用造販賣途

陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋散髮、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

原料直輸入廉價調製各種木形新着

弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは最新の粹を集め常に諸流の御滿足を得實地御試用被下度候

●京釜間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳送呈仕候

特價　深ゴム靴　六圓五十錢
アミ上靴　五圓五十錢
淺ゴム靴　東京　北村支店

京城本町二丁目（郵便局前）店主　磯部廣吉謹告

季節大賣出し

自十月廿五日至十一月三日正札より一割引

季節嶄新流行品多數荷着致候に付前記の通り大賣出仕候間續々御來店の上多少に拘らず御買上の程伏而願上候

東京小間物卸賣　京城本町二丁目　**夏川商店**

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す　●搾場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸氏は必ず清潔衛生に熟慮し好良の食料を給すべし

移轉御披露

これまでは太平町にて營業を致して居りました處が皆樣方の御引立を蒙りまして手狹を感ゆるまでの繁昌になりましたから今回肩書の場所に移りました就てはどうか從前よりもヨリ以上の御愛顧を賜ります樣偏に御願申上候

御料理　**初音**　西小門通（元横濱亭跡）

營業科目

活版、石版、銅版各種印刷
帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷
諸材料販賣

日韓印刷株式會社

運ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三二三番
出張所　東京麹町區麹町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

明治廿年七月創立●京城代辨店　本町四山口吳服店　電話九番

米東京海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓●事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

●電話開通　八百三十五番●

唐津石炭　直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五　南大門高等女學校裏通り

近藤商店

神戸賣生分院

◎花柳病專門附痔一般　注射療法
●入院隨意●

京城梅毒病院

京城柏生町（南門湯横）　院長　醫學得業士　產田崩平

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮寧親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

（電話長一〇七番）

京城光化門通　**淺田洋服店**　店主　大島專藏（電話四百十二番）

胃腸消化新劑

澱粉消化　ヂヤスタリン　錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢　散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢
蛋白脂肪消化　ヂゲスチン　錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢　散劑一オンス入（一瓶）一圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名藥噴々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥　韓國一手賣捌元　京城光化門通　大島專藏

一とろゝ汁　拾貳錢
一麥飯　五錢

會席御料理　御一人前　金五十錢
外一品御酒一本付

吸もの、さしみ、口取

京城曙町（元大韓日報社跡）階建）電話取次千四十二番

俵すし　**松善**

折詰御辨當及出前は特に勉強御調進可申候
御注文希申候

懷中要藥

代理店　**新井藥房本店**　**新井藥房分店**

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして瀉車瀉船のるひを快くすること妙
清心丹は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒ブト用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢嘔には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛み碎用ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名儀へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（紙包）の八種あり
清心丹は二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）の八種あり
清心丹は製造本舗は東京府日本橋區元大坂町八番地にして取次は品調る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目　電話（九百四番）千六十八番
京城本町三丁目（電話四七八番）

新井藥房本店
新井藥房分店

會席御料理御一人前　看四品付酒二本　金六十錢

すき燒其の外應御好

京城竹園町一丁目　**遊樂樓**（元三遊樓跡）

蒸消　牛乳　濕毒

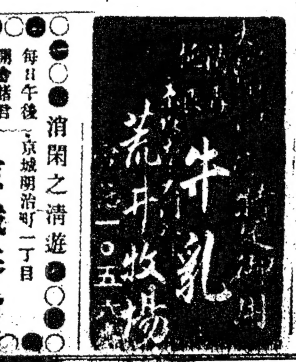
京城大和町一丁目　電話一三三番　**平山牧場**

大上商店

特約販賣　自製

濱味噌醬油製造元　京城本町五丁目

和洋酒、麹酒、穀物麵類、銘茶、鮮詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候（電話二二五一番）



●消閑之清遊●　●毎日午後　京城明治町一丁目　開會諸君　子陸綾龍　京城碁會（大和湯前○万碁）●臨を賜へ　●市中之仙境●

日本郵船株式會社　瀛船仁川出帆廣告　仁川海岸通　電話三九番　貨物及船客取扱店　郡回漕店

●釜山長崎門司神戸行　山東丸　十一月二十日午後三
●大連、太沽行　高砂丸　十一月十八日正午發
●大連、大沽行　山東丸　十一月九日午前四時頃
●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　十一月四日正午時出
●釜山出帆、元山、清津、浦潮行　立神丸　十一月十七日午後出

御乘船ノ際ハ殺風波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事